



さとうきびの振興発展に向けて

種子島さとうきび生産者大会

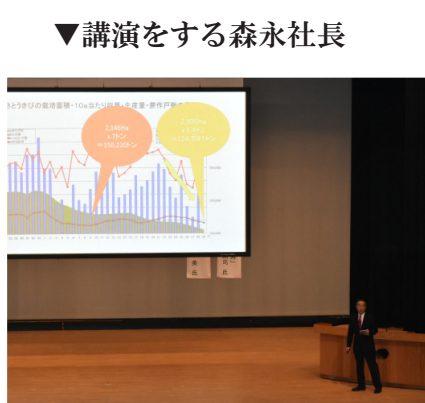
【11月10日】中種子町の種子島こりーなで、平成29年度種子島さとうきび生産者振興大会が開催され、生産者・関係機関が多数参加しました。

3年ぶりとなる今回は、面積・生産者数が減少する中、栽培管理技術の研鑽と生産意欲の向上を図る為に開催されました。大会は、新光糖業株式会社の森永社長と熊毛支庁農政普及課の田代氏より講演がありました。また、西之表市の杉為昭氏と南種子町の日高健次郎氏より事例紹介があり、参加者はスクリーンに映し出される資料映像に釘付けでした。また、さとうきび生産改善共励会表彰（地域の部）において、中種子町の本村生産組合が受賞しました。

出席者全員で、種子島の生産現場の問題点や将来に向けた課題を再確認し、さとうきびの振興発展に向けた取り組み強化を確認しました。



▲受賞した本村生産組合



▼講演をする森永社長



▲意見・要望が多数ありました

営農情報

平成29/30年産さとうきび集荷、いよいよ開始!!

反収5.4 t、生産量12万tの見込み

受入開始に向け、島内が慌しくなってきました。
市町別収穫見込み面積及び生産見込みをお知らせします。

【市町別収穫見込み面積及び生産見込み】

市町名	面積 (ha)	反収 (kg)	生産量 (t)
西之表市	598	5,050	30,181
中種子町	1,216	5,800	70,530
南種子町	476	4,900	23,336
全体合計	2,290	5,417	124,047

*平成29年12月1日決定（種子島糖業振興会 臨時総会）

*西之表市及び種子島合計の生産量には、含蜜糖向け371t（収穫面積10ha）を含む

*種子島糖業振興会 幹事会資料より



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】 物事をネガティブに考えやすい時期。持ち前の明るさを忘れずに。また、うわさ話に興味を持つのも運氣低下のもと
【健康運】 疲れたら、ゆっくり休んで。自愛が必須
【幸運を呼ぶ食べ物】 プリ